

立憲民主党

The Constitutional Democratic Party of Japan

衆議院議員・小児科医 No.587

あべともこニュース

3

弱者を守る法案を提出

◆子どもの医療を守るために要請

超党派の成育基本法推進議員連盟で11日に「小児科の医療経営悪化に関する緊急要望」を三原じゅん子厚生労働副大臣に申し入れました。新型コロナウイルスの拡大で、小児科や多くの医療機関は経営難に陥っています。小児科を支えようとお母さんも署名を始めています。

せっかく「生育医療基本法」ができて、身近な小児科がつぶれてしまっただけで子どもを守れません。日本小児科医会からの要請について説明し、早急な対応を求めました。



衆議院議員あべともこプロフィール

神奈川県 12 区 (藤沢市・寒川町) 当選 7 回、東京大学医学部卒業、小児科医、あべともこ子どもクリニック (湘南台) 理事長 現在、厚労委員会・原子力問題調査特別委員会筆頭理事

小児科がピンチ！ 子ども達がピンチ！

電子署名へのご協力をお願いします

change.org

<http://chn.g.it/6x2brfK8>

新型コロナウイルス感染症の影響で「子どもを病院へ連れていきづらい」という親御さんが増えることで

◆同じ労働には同じ待遇を！

立憲民主党は、じめ4野党は、同じ労働をするなら正規・非正規で差別しないことを雇用者に求める法案を提出しました。

格差は賃金だけではありません。10月には、非正規雇用労働者には賞与や退職金を支給しなくてもよいとの最高裁判決が出てしまいました。

この司法判決が、非正規雇用の格差を拡大させないよう、法律での歯止めが必要だと思えます。働く女性の6割は非正規雇用。コロナ禍の皺寄せの軽減も急務です。



11月13日法案提出後、被告と共に会見

◆提供精子等で産む子の知る権利

生殖補助医療で生まれる子どもと親の「親子関係」を定める法案が国会内外で話題となっています。「産んだ人が母、妻が第三者から精子提供を受けることに同意した人が父」と定める案です。

現在は日本産婦人科学会の自主ルールで卵子提供はできないことになっていますが、卵子提供や代理出産も実際にはありえる状況です。

一方、提供卵子・精子で産みたい親の願いを叶えるためではあっても、生命の操作に関わる倫理的視点、子どもの出自を知る権利、肉体的な負担の多い卵子提供者の保護、医療者への規制、卵子や精子の売買規制など大事な制度論が後回しです。生命が操作される道とならないよう論議を深めていくつもりです。



https://twitter.com/abe_tomoko



<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

あべともこ

検索

あべともこと共に歩む会後援会入会のご案内及びボランティアスタッフ募集中！



衆議院議員 あべともこ事務所 〒251-0025 藤沢市鵜沼石上 1-13-13-1 F

TEL 0466-52-2680 FAX 0466-52-2681 E-mail : inochi@shonanfujisawa.com

立憲民主党神奈川県総支部連合会 〒231-0012 横浜市中区相生町 4-69-2 F TEL 045-226-2377 FAX 045-226-2378